

2022年6月~7月のお知らせ
INFORMATION

5/16日 辞令交付式、
職員会議



カラカス・チャームさん
配属先/けっぱれ家

グシェル・ジェロイさん
配属先/なんもだ亭

- 6月行事予定
・1日(水) 修祓式
・14日(火) 美容
・28日(火) 理容
- 7月行事予定
・1日(金) 修祓式
・11日(月) 理容
・12日(火) 美容

※新型コロナウイルスの影響もあり、
行事が変更になる可能性があります。



5月16日、特定技能介護職員の辞令交付式が行われ、福森理事長から辞令の交付と法人理念などが書かれた職員ハンドブックが渡されました。午後には、職員会議に参加し、とても上手な日本語で仕事への意気込みなどについて挨拶がありました。

令和3年度 ニアミス・事故統計報告

令和3年度(R3.4.1~R4.3.31)にやすらぎ荘で発生したニアミス、事故の件数を報告いたします。

“ニアミス”とは、変色や転倒などがあつたが受診の必要がなかったなど、比較的軽微なものをさします。“事故”とは、転倒などで受診に至ったケースや、薬の飲み忘れなどの誤薬などを“事故”としています。

ニアミスは324件、事故は45件で、合計は369件となっております。

やすらぎ荘では、毎月1回及び事故発生時に「事故防止検討委員会」を開催し、事故の検証や防止対策の検討を行い、事故を減らすよう取り組んでいます。



ニアミス・事故報告書の提出状況の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全体報告数	415	408	369
うち事故件数	46	48	45

●内容別

転倒	転落	誤嚥	誤薬	配薬ミス	介護ミス	皮膚変色	剥離・裂傷	その他
88	32	3	28	17	13	117	28	41

●時間帯別

0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~0時
3	8	12	38	37	39	52	75	37	35	20	11

●発生場所

居室	居間	廊下	浴室	車両送迎	その他
211	76	11	57	1	11

四文字熟語

半年ぶりに開催された体操クラブを見学した時のことです。穴あき四文字熟語のお題に次々と正解を言い当てる入居者さんを見て、自分の知識不足に寂しい気持ちになっていたところ、さらに、入居者さんをお部屋へお送りする時に、“大切にしている漢字一文字”を尋ねられて、タイムショックのように慌てて「進です。」と答えてしまいました。

私が、大切にしている言葉は、ウォルト・ディズニーの名言“ディズニーランドはいつまでも未完成である、「現状維持では後退するばかりである」”です。表現は違いますが、ナイチンゲールや松下幸之助、渋沢栄一なども同

じ内容のことを語っています。

人によって、解釈に違いがあると思いますが、自分としては、

①時代は常に動き、周りの変化をみないでいると、現状維持をしているつもりが、取り残されてしまうことになる。

②時代にあったやり方なのか、より効率的なやり方はないのか、現状に止まらず、変化や改良を考える。

といったことを大切にしたいと考えています。

テーマを「四文字熟語」にするはずでしたが、横道にそれてしまひすみませんでした。

施設長/田村 成人



2022 6月号
令和4年 第24号[通算534号]

広報紙

やすらぎ

社会福祉法人
小樽育成院 特別養護老人ホーム
やすらぎ荘 広報委員会



車内は
笑い声で
にぎやか!

お花見ドライブ
大好評♪

やすらぎ荘の 日頃の ひとコマ

お花見ドライブ&散歩

5月にユニットでお花見ドライブに出かけました!
高台から見る海と桜の美しさに、気持ちも晴れ晴れ!
やすらぎ荘敷地内の桜をながめながら
ゆったりお散歩もしました♪

来年も
お願い
しま〜す!

桜をバックに
記念撮影も!



体操クラブを 開催しました!

イチ、ニ、サン、シ!



腕もしっかり
上がっています!



皆さんでラジオ体操を行いました。
なじみのある音楽に自然と
身体が動きます。

半年ぶりに体操クラブを開催しま
した。1時間程度ですが、体を動かし
たり、頭の体操も行いました。
感染状況等にもよりますが、
毎月開催していく予定です。



オタモイ調査隊が行く! はな ちょう ず 小樽住吉神社の花手水

海を臨む景色が
素敵でした!



プランター アレンジの 寄贈

5月16日に小樽美容協会青年部様より、
綺麗なお花いっぱいプランターアレンジを
ご寄贈いただきました。
さっそく正面玄関前に飾らせていただきましたので、
ご観賞ください。



第4回 なるほどユニットケア

ユニットリーダー研修実地研修の受入れ準備

やすらぎ荘は改築した2004(平成16)年以降
「ユニットケア」に取り組んできましたが、その
本質は、入居しても、以前の暮らしを継続してい
ただくことを目標に、個人の尊厳を守り、一人ひ
とりにあわせた空間の確保やきめ細かなケア
に努めることです。

ユニットケアが全道・全国の高齢者施設に広
がることを願い、2006(平成18)年より一般社団
体法人日本ユニットケア推進センターが主催する
『ユニットリーダー研修実地研修施設』の認定を
受け、全道・全国から施設職員を受入れてきま

したが、コロナ禍の
影響により、2019(令
和元)年度から受け
入れを一時中止していたところ。

こうした中、先頃、北海道庁と協議の場をも
ち、事業再開の準備を進めることの内諾を得た
ことから、感染状況やワクチン接種の状況など
を踏まえながら、本年8月以降の受入れを想定
して、実地研修に取り組みたいと考えておりま
すので、ご理解とご協力を賜りますようお願い
申し上げます。



コロナ感染の拡大を懸念し、手水に
ひしゃくが使えないため、水の守護神・
龍の口の先には色とりどりのガーベラ
が生けられていました。
みなさんを代表して「悪疫退散」「除
災招福」を祈ってきました。